

## 2. 福岡空港の概要

## 2. 福岡空港の概要

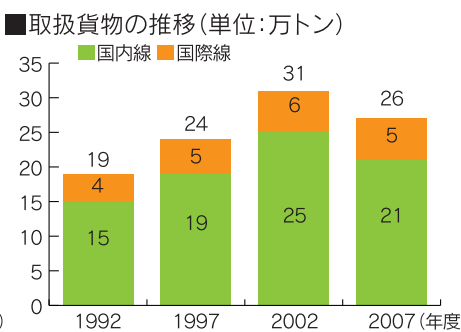
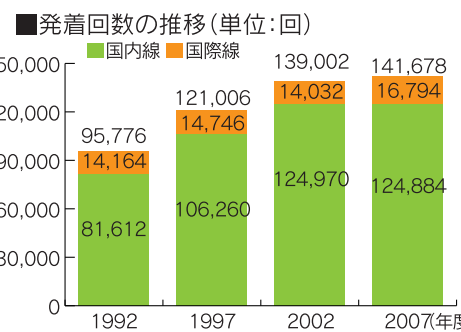
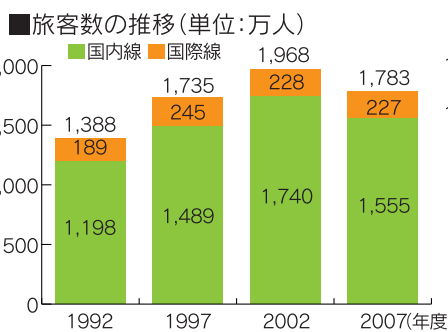
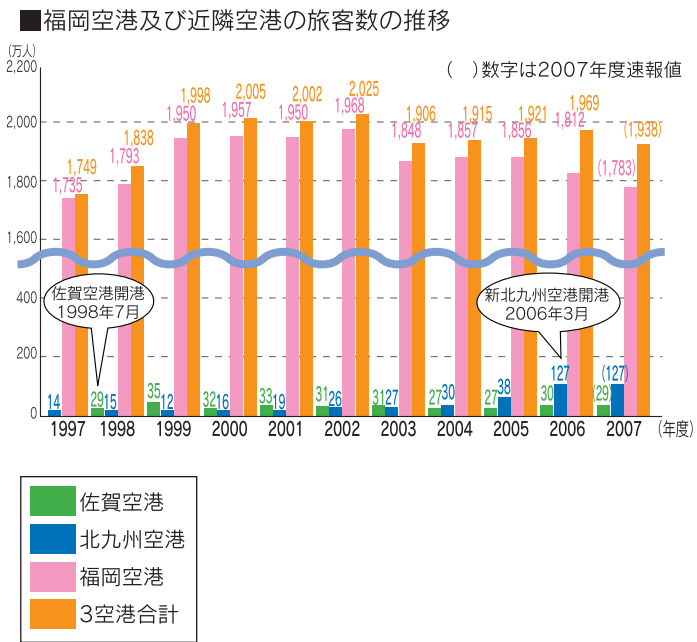
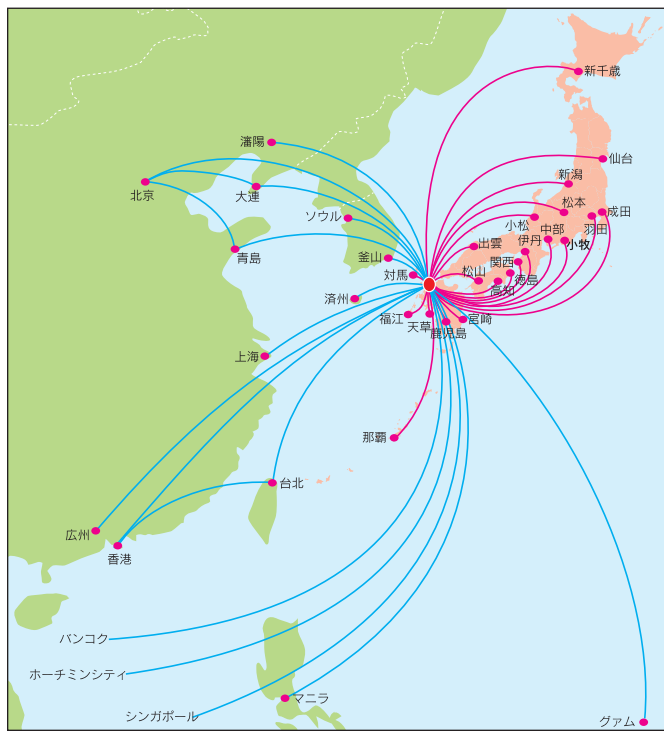
### 2) 福岡空港の利用状況

### 2) 福岡空港の利用状況

#### ■路線の現況

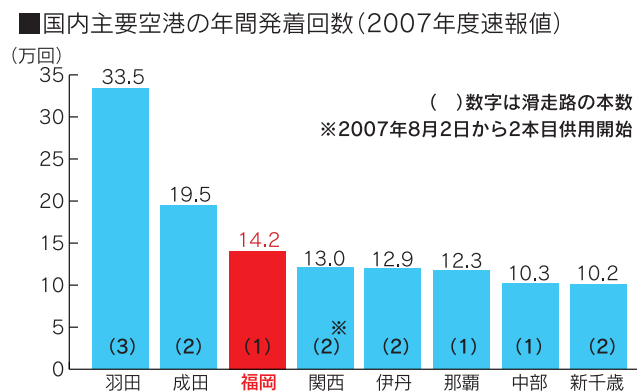
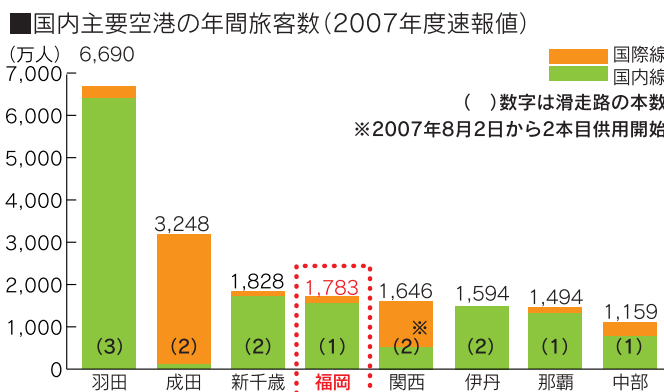
福岡空港の平成20年5月現在の国内定期航空路線は、東京、大阪方面、名古屋及び南九州を中心とし、東北、北陸、山陰及び四国も含め21路線294回(発着)/日、国際定期航空路線は、中国、台湾、韓国及び東南アジアを中心に18路線324回(発着)/週が運航されています。

また、福岡空港へ就航する便の航空会社は、国内線が6社、国際線が国内社3社、外国社14社となっています。



#### ■利用の状況

航空旅客数は羽田、成田、新千歳について全国第4位(2007年度速報値)、年間発着回数は羽田、成田について全国第3位(2007年度速報値)となっています。また、滑走路1本の空港としては、旅客数、発着回数とも国内で最も多い空港です。



#### コラム3 アジア・ゲートウェイ構想と航空自由化

21世紀はアジアの時代といわれています。我が国が人口の減少をはじめとして様々な課題に直面する中で、今後も安定した経済成長を続け、世界にとって魅力のある「場」となるためにも、成長を続けるアジアの活力を取り込むことが重要な課題となっています。政府はこの課題に対応するため「アジア・ゲートウェイ構想」を発表し(2007年5月16日)、最重要項目のひとつとして『「航空自由化(アジア・オープンスカイ)」に向けた航空政策の転換』を掲げています。

#### 1. 航空自由化(アジア・オープンスカイ)に向けた航空政策の転換 (航空自由化(アジア・オープンスカイ)による戦略的な国際航空ネットワークの構築)

- アジア各国との国際航空ネットワークの構築は、地域経済の活性化や消費者の利便性向上などの上で重要な課題である。
- これまでの航空政策を大転換し、アメリカ流のいわゆるオープンスカイではない、国際的に遜色ない航空自由化(アジア・オープンスカイ)をスピード感を持って戦略的に推進する。
- 関西国際空港・中部国際空港は、我が国を代表する国際拠点空港として、ふさわしい路線の開設や増便が実現できるよう、アジア各国との間で互いに、旅客分野、貨物分野の双方について、事業者、乗入地点、便数の制約をなくす「航空自由化」を二国間交渉により推進する。併せて国内空港とのネットワークの充実や機能分担等により、国際競争力の強化のための施策を推進する。
- 地方空港についても、観光振興等を推進するため既に始まっている自由化交渉を加速化するとともに、交渉妥結前でも、路線開設や増便等を暫定的に認める。安全の確認、CIQ、自衛隊等との調整を除き、実質的には届出化を図る。併せて、定期便の前段階である国際旅客チャーター便を積極的に促進する。
- 首都圏空港については当面、戦略的に活用するとともに、将来の容量拡大等をにらみ、さらに自由化について検討する。
- **まず、中国をはじめとするアジアの各国との自由化交渉を推進する。(アジアを優先)**

#### ■地方空港の自由化

アジア・ゲートウェイ構想に基づき、国土交通省は、外国航空会社による地方空港への路線開設、増便等について以下のとおり取り扱うことを発表し、地方空港の国際航空路線網の充実やアジア各国との交流促進や地域の観光振興に取り組んでいます。

#### 地方空港の自由化(2007年11月2日)

1. 地方空港については、二国間航空協定に基づいて決められている乗入企業数、乗入地点、便数等の枠組みの範囲外であっても、外国航空会社から具体的な要望があれば、暫定的に路線開設、増便等を認めることとする。
2. 地方空港への通常の路線開設、増便等についても、運航の安全性等の確認が済み次第、直ちに認可を行うこととし、手続期間の短縮を図ることとする。

#### ■国際航空運賃の自由化

また、航空運賃に関して、これまで国内外の航空会社が直接利用者に販売するチケット料金については、国際航空運送協会(IATA)の正規割引運賃の3割を下限としてきましたが、2008年4月よりこの規制は撤廃され、自由化されるなど、さまざまな制度改革が進められています。

#### ■(参考)地域ごとの航空「旅客数」の年平均伸び率

	2006	2007	2008	2009	2010	2015	2025	2005-25	2005-10
アジア・太平洋	8.5%	8.6%	7.9%	7.7%	6.8%	5.7%	4.8%	5.8%	7.9%
中近東	12.6%	7.0%	5.3%	4.9%	4.3%	4.1%	3.8%	4.6%	6.8%
ヨーロッパ	6.2%	5.4%	4.6%	4.2%	4.2%	3.6%	3.0%	3.6%	4.9%
アフリカ	7.8%	8.6%	7.5%	7.3%	7.0%	5.5%	5.0%	5.8%	7.6%
北米	0.6%	3.7%	3.1%	3.1%	3.1%	2.9%	2.7%	2.7%	2.7%
中南米	6.3%	6.8%	5.3%	4.9%	5.0%	4.5%	3.9%	4.5%	5.7%
全世界	4.9%	5.7%	5.0%	4.8%	4.6%	4.0%	3.6%	4.0%	5.0%

出典:ACI(Airports Council International:国際空港評議会)